日産サンクルーズ 730

2026/02/06更新

売却価格：**売却済み**



基本情報

船種	日産 サンクルーズ 730 (サイズ：24ft)		
サイズ(船検証)	全長：6.92m　全幅：2.57m　全深：1.40m		
進水年月日	1998(平成10)年7月	**製造年式**	ー
航行区域	限定沿海	**定員**	10人
船底塗装歴	あり	**次回船検**	本検査(2028年09月01日)
清水タンク容量	ー	**保管状態**	係留
取材	あり	**出品エリア**	神奈川(関東)
注意事項	見学ご希望の方はメールかお電話にてお問い合せ下さい。 また、オーナーさんご多忙の為、 購入を前提にした方のみご見学お願いします。 中古艇ドットコムは個人売買となりますので、お約束をお守りいただけない方や、態度の悪い方は、オーナーさんの方よりお取り引きを、お断りさせていただく場合もございますのでご了承下さい。 上記の記事内容は、オーナーさんのコメントをもとに作成されたものです。 極力、欠点なども含めて記事を作成しておりますが、なにぶん１時間程度の取材時間で作成したものですし、オーナーさんの中には問題点を把握していなかったり、不具合箇所がお話から漏れてしまう事もあるかもしれませんので、実艇の状態と違う箇所が存在する可能性があります。 また、整備履歴・修復歴や艇の状態などに関しては、中古艇ドットコムで裏づけを取ったものではありませんので、ホームページの内容は参考までにご覧いただき、必ず見学され、購入者本人の眼で確認の上、自己責任で購入をお決め下さい。 中古艇ドットコムより無理に購入を勧めることはございません。		

エンジン関連

メーカー	ヤマハ発動機（株）	**エンジン型式**	63P

燃料種類	４ストロークガソリン	**搭載数**	1基
船検証記載馬力	150馬力　/　5,500rpm(回転数)	**推進機器種類**	船外機
巡航速度(参考)	約25ノット	**最高速度(参考)**	約30ノット
燃費/時間当り(参考)	ー	**燃料タンク容量**	約160リットル

※上記に表示されたモデル名・サイズ年式・エンジン仕様・エンジン馬力・燃料種類・速度・燃費などの数値は、中古艇ドットコムで確認を取ったものではありません。オーナー様からいただいた情報を基に記載しておりますが、オーナー様の記憶違いや勘違いの可能性もありますので、あくまでも、参考までにご覧いただき、最終的には自己判断にてご購入をお決め下さい。
※使用時間は、メーターの表示時間を記載しております。あくまでもメータの表示時間ですので、実際の使用時間を補償するものではありません。
※巡行速度・最高速度に関しては、オーナー様からお聞きした速度を記載しておりますが、オーナー様の記憶違いや、船の状態により記載されたスピードが出ない可能性もあります。あくまでも参考までにご覧下さい。燃費やタンク容量などの数値に関しても同様です。

備品情報

航海計器
- ・GPS魚探１
  ホンデックス製（HE-61GPⅢ）
- ・アワーメーター
- ・燃料計

外装品
- ・スカイハッチ
- ・トランサムステップ
- ・トランサムラダー
- ・電動ウインチ

内装品
- ・個室トイレ

装備品
- ・ツインバッテリー
- ・デッキライト

フィッシングギア
- ・ロッドホルダー
- ・ロッドホルダーベース
- ・電動リールコンセント
- ・イケス

コメント

１９９８年（平成１０年）７月に国内新造進水登録の日産サンクルーズ７３０（２４フィート）のご紹介です。
日産サンクルーズ７３０は、釣行とクルージング性能を両立した国産ミドルクルーザーです。
安定感のある船型と操縦性の良さにより、長時間のクルージングや沖での釣行でも安心して使用できる設計となっています。

広めのデッキスペースは、複数人での釣りにも対応しやすく、マリーナステイ時にはキャビン内でゆったりと休憩が可能となっています。
移動、釣り、休息を一艇で完結できる点は、本艇モデルならではの魅力です。

外観全体はハルの線キズを始めとして、ちょこちょこと小キズは散在していますが、修復が必要な大きな破損は無く、デッキ周りのＦＲＰの状態は決して悪くないと思います。

エンジンはＹＡＭＡＨＡ製１５０馬力（１１０．３０ｋｗ）４ストローク船外機を搭載しています。
型式は６３Ｐ（Ｆ１５０ＡＥＴ）です。
エンジンアワーは７９１．３時間（取材時）となっております。
エンジンカバーの比較的広い範囲の擦り傷は現オーナーさんがご購入した時にはすでにあったモノなので、原因は不明らしいです。
ただ、船外機後方面の比較的上部の位置にひび割れがあり、これは昨年（２０２５年）出港時に現オーナーさんがバースから船を出そうと後進した際に、入港してきた船と接触して出来たモノらしいです。（出入港時なので、お互いの速力はデットスローだったらしいです。）
それに伴い船外機カバーの内側から漏水テープを貼付しているらしく、今のところ水漏れはないとのことです。

現状として現オーナーさんの認識するところの不具合はなく、問題なく使用出来ているそうです。

メンテナンスは定期的にマリーナに依頼し、実施しているそうです。

【２０２５年６月】
・エンジンオイル交換
・ギアオイル交換
・オイルフィルター交換

【２０２３年８月】
・スロットルボディ（吸気量とエンジン出力を調整する重要部品）取外し、清掃、組付け
・ＴＰＳ（スロットルポジションセンサー）調整

【２０２３年３月】
・エンジンオイル、フィルター、ギアオイル交換
・エンジンジンク交換
・燃料フィルター交換（一次、二次）
・スパークプラグ交換
・ロア脱着、プロペラ脱着
・オイルシール交換
・インペラ交換

※その都度付随するガスケットなどの交換も実施しています。

　このエンジンはエンジンアワーこそ８００時間弱ですが、決して新しいものではありませんので確実にご試乗の上、ご自身の目でお確かめ頂きますようお願いいたします。
　エンジンの始動確認動画をご確認下さい。

デッキ周りは、年式相応の使用感がありますが大きな破損部分は見受けられませんでした。
右舷側後方のバッテリーを収納しているハッチの表面に小さなＦＲＰの欠けがあります。
バウデッキには電動ウインチ、アフトデッキには多数の収納、イケス、ロットホルダー、ロットホルダーのベース、ロットキーパー（３台）、作業灯、電動リールのコンセントが付属されており、釣りがお好きな方にとっては嬉しいアイテムが多数揃っています。
ルーフ部分（操船席の上辺り）には、離着岸時に重宝するスカイハッチが装備されています。

この艇は、神奈川県横浜市のマリーナに係留保管しております。
ご見学の際は、必ずオーナーさん立会いが必要となりますので、事前に必ずお申し出をお願いします。
なお、天候及び海上の状況により試乗出来ない場合もありますので、ご了承下さい。

外観全体

外観全体はハルの線キズを始めとして、ちょこちょこと小キズは散在していますが、修復が必要な大きな破損は無く、デッキ周りのＦＲＰの状態は決して悪くないと思います。

ハル周り

ハル周りは、黒に塗装しているため防舷物（白色）の擦れ跡や塗料の剥げた部分は船体白色の船に比べると気になるかもしれません。
・ハル突端（バウスプリット下部）に塗装の剥がれ
・ハル突端に複数の小キズ
・ハル周りに線キズ（両舷）
・右舷付けのため、ハル右舷側に防舷物の擦れ跡
・右舷側後ろの角に擦りキズ
がありました。
ハル突端のＦＲＰの欠けや複数の小キズは、アンカーの上げ下げの際に出来たものだと思います。

この艇は海上係留の為、取材時に船底確認は出来ていませんが、２０２５年６月に船底塗装を実施しています。
また２０２１年１０月に現オーナーさんが、結構な費用をかけてそれまでに塗り重ねられた船底塗料の剥離作業を実施しているため、（取材時は未確認ですが）状態としては年式の割わりに良いのではないかと推測します。

※写真に写っているフェンダーの内、キレイなモノは次の船で使用する予定ですので付属しません。

ガンネル周り

ガンネル周りは、
・船の先端部分にアンカーの上げ下げの際についたと思われるＦＲＰの欠けが複数あります。

・右舷側の比較的前の方に小さな凹みがあります。
・左舷後方の角の部分に破損がありますが、補修無しでもそのまま使用できるレベルだと思います。

デッキ周り

デッキ周りは、年式相応の使用感がありますが大きな破損部分は見受けられませんでした。
右舷側後方のバッテリーを収納しているハッチの表面に小さなＦＲＰの欠けがあります。
バウデッキには電動ウインチ、アフトデッキには多数の収納、イケス、ロットホルダー、ロットホルダーのベース、ロットキーパー（３台）、作業灯、電動リールのコンセントが付属されており、釣りがお好きな方にとっては嬉しいアイテムが多数揃っています。
ルーフ部分（操船席の上辺り）には、離着岸時に重宝するスカイハッチが装備されています。

操船席周り

シンプルな計器パネルには、ホンデックス製（HE-61GPⅢ）のＧＰＳ魚探が装備されています。
３５０Wのインバーターも付属されています。
※コンパスは現オーナーさんが今後使用するご予定があり、お渡しすることが出来ませんので予めご了承宜しくお願いいたします。

室内（全体）

キャビン内は、左舷側に４人程度が座れるL字ソファが設置されており、右舷側に操船席が設置されています。
操船席の天井にはスカイハッチがあり、船の離着岸時などに重宝します。
また、左舷側に設置されているソファの真ん中部分（２人程度が座れる）が移動可能になっており、バウバース手前の通路に移動するとバウバースで２人程度が横になれるスペースが確保されます。

室内（前方室・オーナーズルーム等）

バウバースは大人１人が横になれるくらいのスペースがあり、また、キャビン内左舷側に設置されているソファの一部を通路に移動すれば、２人は横になれるくらいのスペースはあるかなと思います。
天井には天窓があるため日が差し込みバウバース内の印象が明るく、開閉式ですので状況に合わせて使用できます。
床下には収納があり、携行缶などを入れるには十分のスペースです。
※白色プラスチックチェア（４脚）とアウトドアベンチは現オーナーさんが今後も使用するご予定ですのでお渡しすることができません。

トイレ・シャワー周り

操船席の前方に個室トイレが設置されています。
便器がピカピカで綺麗に保たれていますし、水漏れ個所などは見当たりませんでした。
また作動確認も実施しており、問題なく使用できていますので良い状態だと思います。
※作動確認の動画のご確認よろしくお願いいたします。
　また、簡易室内ライトは現オーナーさんが今後も使うご予定がありますのでお渡しすることが出来ません。

エンジン周り

エンジンはＹＡＭＡＨＡ製１５０馬力（１１０．３０ｋｗ）４ストローク船外機を搭載しています。
型式は６３Ｐ（Ｆ１５０ＡＥＴ）です。
エンジンアワーは７９１．３時間（取材時）となっております。
エンジンカバーの比較的広い範囲の擦り傷は現オーナーさんがご購入した時にはすでにあったモノなので、原因は不明らしいです。
ただ、船外機後方面の比較的上部の位置にひび割れがあり、これは昨年（２０２５年）出港時に現オーナーさんがバースから船を出そうと後進した際に、入港してきた船と接触して出来たモノらしいです。（出入港時なので、お互いの速力はデットスローだったらしいです。）
それに伴い船外機カバーの内側から漏水テープを貼付しているらしく、今のところ水漏れはないとのことです。

現状として現オーナーさんの認識するところの不具合はなく、問題なく使用出来ているそうです。
メンテナンスは定期的にマリーナに依頼し、実施しているそうです。

【２０２５年６月】
・エンジンオイル交換
・ギアオイル交換
・オイルフィルター交換

【２０２３年８月】
・スロットルボディ（吸気量とエンジン出力を調整する重要部品）取外し、清掃、組付け
・ＴＰＳ（スロットルポジションセンサー）調整

【２０２３年３月】
・エンジンオイル、フィルター、ギアオイル交換
・エンジンジンク交換
・燃料フィルター交換（一次、二次）
・スパークプラグ交換
・ロア脱着、プロペラ脱着
・オイルシール交換
・インペラ交換

※その都度付随するガスケットなどの交換も実施しています。

　このエンジンはエンジンアワーこそ８００時間弱ですが、決して新しいものではありませんので確実にご試乗の上、ご自身の目でお確かめ頂きますようお願いいたします。
　エンジンの始動確認動画をご確認下さい。

お問い合わせ先ご質問や見学のお申込は掲載会社までご連絡ください！



[神奈川エリア]　伊佐(いさ)

ご覧いただく皆さまに、安心してお取引いただけるよう丁寧な対応を心がけています。 船の状態や特徴など、気になることがあればいつでもご相談ください。 売却・購入をお考えのオーナーさまからのご連絡、心よりお待ちしております。

070-6916-0741

s-isa@e-fran.jp